

此症有申——と控我者ハラ格ニ事存ル事
 一 勝家ハ内院幸リ不合と思シ申ハ——と危クハ
 不承知ハ熱大名元それナリ程以無言ノ仕合
 ナリ稍暫アリ丹羽五郎左馬助殿申出格
 子去勝家又各名も元来此等ノ人此等守
 中條モ筋目涼殿お父之中ハ了知子細也
 城ノ物様子若君無此症ノ事不及是此以
 たとへ所息女ノく此症候とも此一門中子
 此症意可承候合ニ申——てや此二下ノ若君様

三ノ上

也と此中出ハ各症候事及進与申中今此ハ
 城ノ物様此方事トハ此懐妊の方も此症ノ
 此産此ハ今と所ノ此此候ハと此侍此此男
 女ノ次身此見分可此成事ノ此五常筋目も
 可然——存ル候子ま——てや若君此症以
 上ハ此危立可被承事此此存ル事
 一 柴田殿と——免と——此此の大名元此等
 中通筋目立中候トハ各存ルノ事又此
 中出元モ好くお見——此此の若君此此候

致舟いや〜此彦後より秀吉お有るを
淡志ゆ〜うに及さ也と思召いつその虫
お〜指出中候と被中かゝる所彦後我は立
候〜此彦後よりたひまはる人此彦後と茶坊主
共〜枕と此取上世彦後所やとをい〜湯
を〜此取上を香齋散さ〜了りゆり
と所休是彦後此公〜ハ定め給ひてせん
きま給〜たるを犯と彦思召〜彦子女業
評定ハ〜也〜中に丹羽五郎左衛門
後

彦中如栞子名徳家ら栞〜中候と〜彦後立
被成る爰に栞あさ中候勤目た〜きか
な〜事

一 五郎左衛門後又彦中次男右〜如中彦後彦
後立彦成ま〜く〜上様於京都彦切彦
成彦折弁栞あさハ中国備中〜大款乃
輝元と指回〜彦り指ある大彦とのうれ
播州に帰城〜三日と彦休是不彦〜則
時〜打〜くのり我人の主此切〜起彦

道人と討果事天命ももろなる中能ある
 うと存は勝家と能あるとたたくへくは
 半分もも不及才上也上様は切腹勝家此
 付は能候と云とくは加る母ともはら
 二三人もは好まつふ可被成ゆのと油
 断取と存はと云申左妻及中ははは勝家
 も理りは法まると阿やまりく候云申左中
 通はは能あると云中は勝家替へま

三十一

してつや〜善々急命と申た人を押ゆ
 能出けるう能ある中出通は助目立は皆
 若法師様を天下人可事候者也能ある
 虫氣之能くは是へ能出よ候合可申候と
 儀定〜事

一 五郎左妻の及是を聞彦左遠にお席中靈の
 たいき此男は出くは能あると云くは
 能もよくは哉是所は存分と通り勝家
 合点はとや〜と云云申左勝の及と申

遠年の彦俊一此歸以務家此中出作と
臣等もよくく我先程其所に依出筋目
可然と各も同心し旨目如度若は沙根を天
下人に各我ホとさし免りて可事行免
悟也目如度くと被中出く事

一 龍茶守俊此中ハハ極々務家と始と此終
各も是思召く我流系ホ存よりは通古
如右多くは彦俊の在去く然上もくく
此談合と此志め是知く存より中一通ハ

如此中上はと此中作く處より務家此巧心
き川各も是所此中通可然と我ホも始と
く存のさやくくけ上も心置まよ
くは事

一 柴田俊三七俊と天下の主、存立中俊との
分別三七俊ハ所具是と一めと是仕と
故とお笑し中作此所誓約成後、此態と
此之中作秀若子ハ堪く物成此態と聞え
中此子細々城ハ及所若荒のとき

此公家元亨と此邊人不仕成以所六ノ邊
此思召以此奪色と秀吉見此及此は
私一歩目と被懸以と世間此被露此疑と
此氣此つうし此事此産有ましと此上
於私にも内院者此六ヶ被候中上ノ邊此
彼と有通と可此疑と被中上ノ此子信忠様
希子とや此思召秀吉此知者と様と
在百成所中此援くも此目之付知り
此疑と事

一 信長及所妹婿淺井及と此疑取此疑
之後家を信長及内此有付可此取と
此思召と處と三七及此柴田と此是以様と
被任上作又様と女及此被取と此是以様
と此任上と處と此念と此追討此疑と
此疑一系了柴田、此是以被取大名、此
此疑と付三七及此柴田、被取と大名も
此疑以上此所兄弟、此疑以るも此被候
と此任上以所信長及此と此意と柴田

了、新巻に付由い新巻二十七巻を柴田引多一
作証あす後々城々分格、通人不在等の
ちふらと心若法抄格を存し、中巻と紙
それきふきの所々等々と等し

一 左のり、若日と急し、若法格へ、抄終可
お定と勝家注中出の抄、是より日柄を
見よとして、其後此者、注中渡の積方、後
合おりの日より四日、抄礼お定し中

一 さ、ハ抄終、次身目錄を他よと先、一家
元抄礼の目錄、巻物一巻出、是は抄し、
其次、ふ大名元、此礼の目錄別紙、一巻出
来、以ふ大名元、おゐ、ハ柴田修理、後次、ハ
瀧川左近、後丹羽、お郎左、夫、後、毎羽、柴田、お、
と、目錄、と、書、自、中、よ、と、秀、若、此、見、及、是、知、て
務、家、若、格、へ、海、沼、此、症、候、抄、終、分、是、候、と、
可、承、以、各、内、と、如、此、存、信、忠、格、別、与、是、懸、此、目
子、細、此、症、以、候、と、是、懸、此、存、と、旨、不、能、申、上、
別、の、海、沼、身、ハ、無、此、症、以、若、法、格、此、抄

一よりと信信守可下いさや〜年
 より中〜智別〜屋も各庄の城〜女帳〜
 信忠公仕以て心〜各置中〜此若法格を
 子細各庄庄作と信信出の勝家と始と〜
 秀若許詔と信中出〜時〜い〜う格とる候
 と〜と各存以〜是ハ以〜お安尼許詔以
 お我お共同心仕以各も定別条行与ま
 一と播家信中以格とるお〜大名元是所〜

信忠格は熱所園以格子其如〜建各庄庄以
 いよ〜一を信思石出若法所格の信〜りと
 信信〜来か人〜入中〜節自立中上〜一入
 親母愛所覺悟〜以と各庄中〜以とお守中〜
 有〜同縁〜秀若若各庄入以〜と〜次〜
 所礼〜以秀同縁お〜と〜納〜年
 持進より柴田殿と〜と〜若所城
 と信出屋形〜〜信若若以

一秀若ハ詔〜り〜内留り〜と〜信信〜入〜所庄〜也

おく方へ上福元と仏僧の立者法格と
是へいゝ起事りお教人新出人と阿ふし
うは良吉法格といゝ起事人へ佛出新出の
新出者後出きてんゝそおそ後へと進しと
人ゝ後の中阿ふしと阿ふし中作おそふき格の
家おふ格成年よりと佛説しゝい佛おち
新出者のくゝとくゝと間二三留也起事者
法くゝと佛説しゝと二つゝい佛年
法よ由へう一候と此かゝゝく見え中作

佛国くりり成と此きけきみまほゝ
さゝゝハ昨日可新出のくゝと起事より此宿
所へ此佛新出細工人等へ町以下上格の細
工人の候ハ不及中數十人新出者と年
一ちや細工人も有まゝ一候作仕人ハ此の
本をくゝとんゝ起事よとの佛意よりく
修出子者で此れ不うと起事者も作よ
鳥馬をくゝと他よ急ゝとの候より起事出
来仕と中上の起事進うらきんらん乃

新と多くは在寄をでこは知るのいーやう
子仕ゆり馬か来しを鞍さし此まふ
是も各殊所出来はまねも明帯れも早
矢下り所定城は成はまへへ入しは持
せは成は長持と成はまへへ入しは持
乳人ゆりしたし是まへへ出は成と
中上とふみ下り居は出は成は明へ通る
此置し件し下このゆりしを成は出
所因無くまへへは法うし射は成程

此いさみは成はと見し中は成ゆりは成
此上福元へはわしは是是よりゆり
は成は成は成し不斜と見え中作時
ゆりさしは成し一写程子秀吉は成は成又
一は成無ゆ目は右はしは成は成は成
是是よりは成右方と成は成とおしき
時分馬高をしと今度まへと成は成を
しは成や成は成しは成は成は成の
物と成ゆりしは成は成は成は成は成

亮まゝくまゝと扱を右上げ治をさやく良
時子秀若へ内たうれは知いさやう下り治手
舟は成し年一傳子内きてん由とあま
え中々年

一翌日を治家中のちんさた馬ともてふこり
治所屋は成はるよも志んくの大姉をなと
か命させあとりいきんあんと切うけ
各所所内志し獲んは成いつこれ馬よハ右の
通あしらく虎袋頭袋とさうせ馬二つ

治城へ内心う治は成又早天より治宅
城しく治書院のあへひうせ是へ治出
治成は格とていふとれ居い地をんとかく
免させ治は成たまりりとの上藩元治し
治出の秀若と治治は成とていふくもや
ちいくと治治は成治手と治は成郡治は成
きは成しとちんさた馬のさうつが治は成
しと治手とさかされはかさるさあさると治は成
まの治は成期へ治治は成しと治は成